

夏休み「海の危険」について

夏休みも始まり海へ出かける機会が増えていると思います。みなさんは、海の危険生物を知っていますか？今回は、3種類の危険生物について紹介します。

①ヒョウモンダコ



大きさ10～15cmほどの小さなたこです。興奮すると独特の青い紋様が見えます。平静時は、地味なので注意が必要です。猛毒でかまれると、麻痺や痺れ、嘔吐や呼吸困難になり最悪死に至ります。

②カツオノエボシ



台風や強い風が吹くとカツオノエボシが海岸に漂着することがあります。カツオノエボシは、触手に強い毒を持つクダクラゲの一種で、刺されると電気ショックを受けたような痛みがあります。また、二度目に刺されるとアナフィラキシーを起こしてショック死することもあります。死んだものも危険なので、見つけても絶対に触らないで下さい。

③アカエイ



尾の付け根近くにナイフのような棘があります。アカエイは、棘に強い神経毒を持っています。また、棘はのこ切りの刃のような返しがついており、刺さると抜けにくいので注意が必要です。

これらの生物は危険なため、見つけても触らないで下さい。